

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回8月の「てがたん」は8月8日(土)で、「魚をさがそう」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方々へ 次回のがたん下見&打ち合わせは8月1日(土)です。よろしくお願いたします。

*参加の有無に関わらず、自然観察と生物調査スタッフのみなさまにレポートを送付させていただきます。

7月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2009年7月11日(土) / はれ
- 参加者 18名(一般14名 子ども4名)
- スタッフ 9名(伊東茂子、岡廣志、玄地昭八、小泉伸夫、古川克彌、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(齊藤安行、村松和行)

観察記録 ー7月に観察した生き物リストー

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/カルガモ科：カルガモ/キジ科：キジ/クイナ科：オオバン/
カワセミ科：カワセミ/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/
シジュウカラ科：シジュウカラ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ

【は虫類・両生類・魚類・甲殻類、貝類】

アオダイショウ(抜け殻)、ニホンカナヘビ、ニホンアマガエル、ウシガエル、ミスジマイマイ

【昆虫】

[甲虫目] マメコガネ、コフキコガネ、オオヒラタシデムシ、テントウノミハムシ、クロウリハムシ、ヤナギリハムシ、ハンノキハムシ、ヤマモハムシ、ウリハムシ、ゴマダラカミキリ、ナガゴマフカミキリ、ヒレルクチフトソウムシ、ナミテントウ、ダングラテントウムシ、ヒメアカボシテントウ、トウキョウヒメハンミョウ、アオオサムシ
[チョウ目] ベニシジミ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ、アゲハ(ナミアゲハ)、キアゲハ、モンシロチョウ、*キタキチョウ
アカタテハ、コムラサキ(幼虫)、マイマイガ、オオミズアオ(幼虫)、アオイラガ(幼虫)、シャクガの仲間(幼虫)
[ハチ目] オオモンクロベッコウ、フタモンアシナガバチ、ヒメスズメバチ、セグロアシナガバチ、セイヨウミツバチ、ハナバチの仲間
オオスズメバチ
[ハエ目] シオヤアブ
[カメムシ目] ニイニイゼミ、アブラゼミ、アワダチソウゲンバイ、ツツジゲンバイ、ナガメ、ホソハリカメムシ
[バッタ目] オオカマキリ(幼虫)、コカマキリ、ショウリョウバッタ、オンバッタ、コバネイナゴ、ヒメギス、ウスイロササキリ、エンマコオロギ、タンボコオロギ、マダラスズ、シバズ、キンヒバリ(声)
[トンボ目] コシアキトンボ、ナツアカネ、ノシメトンボ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、ウチワヤンマ、アオモンイトトンボ、アジアイトトンボ
[クモ] クサグモ、ジョロウグモ、ナガコガネグモ、ジグモ、ヤマトコマチグモ、オニグモ、アシナガグモ、シロカネイソウロウグモ、ハナグモ、ゴミグモ

【花】

[キク科] ハキダメギク、ノボロギク、ヒメジョオン、アメリカタカサブロウ、カントウヨメナ、セイヨウタンポポ、ヒメムカシヨモギ、オオアレチヨモギ、[マメ科] シロツメクサ、ヤマハギ、[カタバミ科] カタバミ、オッチカカタバミ、[オモダカ科] オモダカ、[ラン科] ネジバナ、[セリ科] セリ、[アカバナ科] コマツヨイグサ、[カヤツリグサ科] カヤツリグサ、[アヤメ科] ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、[ドクダミ科] ハングショウ、[キョウチクトウ科] キョウチクトウ、[ガマ科] ガマ、[ブドウ科] ヤブガラシ、[アカネ科] ヘクソカズラ、[ツユクサ科] ツユクサ、[ウマノスズクサ科] ウマノスズクサ、[ゴマノハグサ科] トキワハゼ、アメリカアゼナ、[スイレン科] ハス、[スイカヅラ科]
*ハナゾノツクバネウツギ、[バラ科] ナワシロイチゴ、[オシロイバナ科] オシロイバナ

*は園芸種

6月のがたんレポートの観察記録でカメノコテントウと記載しましたが、正しくはヒメカメノコテントウでした。
訂正とお知らせ *今まで観察記録で、キチョウと表記していましたが、キタキチョウに変更しました。

7月の観察アルバム



7月のテーマは「虫と食べ物」でした。過去のてがたんではチョウの食草については何度かテーマにしてきましたが、今回はあまり注目してこなかったグンバイやハムシをテーマに選び、じっくり観察しました。



案内人 伊東茂子さん、古川克彌さん



① コムラサキの幼虫

シダレヤナギの葉で発見！ てがたんでは珍しい蝶です。



② フタモンアシナガバチ

体長 14~18mm。市街地でもよく見られます。



③ トウキョウヒメハシムシ

体長約 10mm。近づくとすぐに飛んで移動します。



④ ホソハリカメムシ

体長 14~17mm。イネ科植物の害虫です。



⑤ クワカミキリ

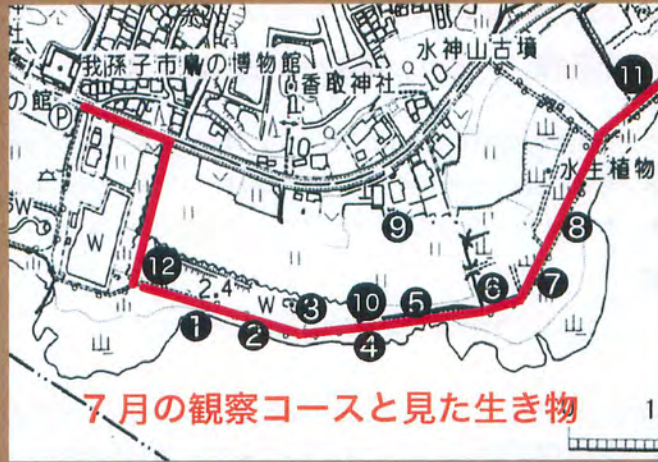
体長 35-45mm。クワ以外にケヤキなども食害します。



←下見でツツジを食べる幼虫を観察しました。

てがたんで成虫を観察しました。→ 体長 9mm。

⑫ ルリチュウレンジ



7月の観察コースと見た生き物



⑥ ダンダラテントウ

体長 4~7mm の小型のテントウムシで、黒い光沢が鮮やかでした。幼虫も成虫もアブラムシなどを食べます。南方に行くほど斑が増えて目立ちます。今回、2パターン の個体を観察しました。



⑪ ハンゲショウ

漢字では、夏至後 11 日目頃に咲くことから「半夏生」または葉が白いことから「半化粧」と書く



⑩ アオダイショウの抜殻

長さ 170cm! ニセアカシアの枝にかかっていた。



⑨ ハス

藕糸蓮(ぐうしれん)の花が満開でした。



⑧ アオモンイトトンボ

体長 30-35mm。トンボの目はかわいいですね。



⑦ シャクガの幼虫

種不明。ニセアカシアの葉にいました。

ジャコウアゲハに会えるかな？



ジャコウアゲハの♂と♀

ジャコウアゲハの食草ウマノスズクサの花が咲いていました。これは博物館で植えたものです。てがたんでジャコウアゲハの幼虫がじっくり観察できる日がくるかもしれません。



ウマノスズクサの花



ジャコウアゲハの幼虫

ノブドウとエビヅル

エビヅルとノブドウは手賀沼遊歩道のツツジによく這ってるブドウ科の植物です。写真のノブドウは葉の切れ込みが深いので、キレハノブドウだと思います。

2種はよく似ていますが、葉の裏をみるとエビヅルは白い色なので簡単に区別できます。また秋に実を見ると、ノブドウの実はやや紫など色が様々で、エビヅルは色の変化が少ないです。



キレハノブドウ



エビヅル